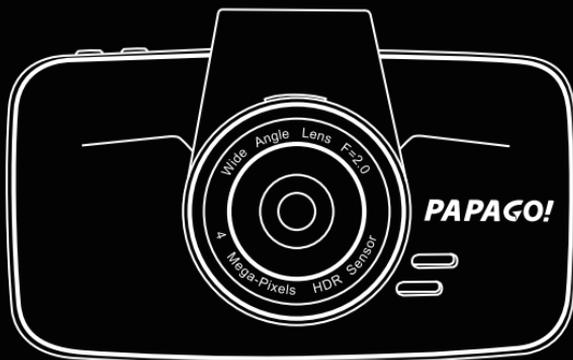


# PAPAGO!<sup>®</sup>

取扱説明書  
User Guide

# GoSafe 520

*Driving Recorder*



地デジやカーナビと電波干渉対策済みの設計

この度は、PAPAGO!製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
当社ではドライブレコーダーご使用にあたり、定期的なメンテナンスを推奨しています。

●定期的なメンテナンス…月1～2回メモリーカードのフォーマット(初期化)  
車両から供給される急激な電圧電流の影響及びメモリーカード側の仕様で一定期間経過すると上書きを邪魔するゴミデータ発生します。そのため上書きできないドライブレコーダーに様々な症状を起さる場合がありますので、解決方法としてメモリーカードのフォーマットすることで正常な状態に戻すことができます。また同時にメモリーカードの破損をチェックすることでより安心してご使用いただけます。

※ご注意

必要なデータがある場合、バックアップを行ってからフォーマットを実行してください。フォーマットを実行してしまうと全てのデータは消去されてしまいますのでご注意ください。

ご不明な点がありましたら当社までお問い合わせください。  
今後ともご愛顧いただけますようお願い申し上げます。

# ご注意事項（必ずお読みください）

## 1) ご使用前のご注意

- ・必ず本製品付属のケーブルをご使用ください。他社製の電源ケーブルをご使用される場合は電源供給の不安定により起動しない事や記録中断、記録されないの恐れがあります。
- ・シガーソケット分配器は電源供給の不安定により起動しない事や記録中断、記録されない恐れがありますので本製品との併用しないでください。
- ・本製品の付属品及び同梱品以外の製品を使用される際、本製品に損傷や損害、破壊、爆発などを与える恐れがあります。その際、本製品の故障により人身事故や火災事故、社会的な損害など当社ではすべて責任を負いかねますので予めご了承ください。
- ・本製品や仕様や取扱説明書、製品のファームウェアなど品質向上の目的のため予告なしに変更や修正を行う場合がありますので定期的に当社ウェブサイト最新情報をご確認ください。
- ・アイドリングストップやハイブリット、省エネなど特殊な機能を持つ一部の車種について各機能と連動し通電が遮断及び急激に変化するラインから電源を取ると当然特殊機能と連動して停止しますので、必ず機能と連動しない安定した電源ラインから取得してください。
- ・本製品は使用方法に誤りがない場合やすべての状況において画像や映像、データを完全に記録する事を保証したものではありません。万が一記録されなかった場合やデータの破損、記録内容で詳細を判別できないことによる損害、本製品を使用することによって生じた損害につきまして当社では一切責任を負いません。
- ・本製品は事故の検証に役立つことも目的の1つですが、証拠としての効力を保証するものではありません。
- ・本製品で記録した映像は被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますので使用目的や使用方法について予めご注意ください。また、本製品をイタズラなどの目的にはご使用しないでください。

・本製品で記録した映像は被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますので使用目的や使用方法について予めご注意ください。また、本製品をイタズラなどの目的にはご使用しないでください。

・昼間に記録される際、日差しや夜間にライト・ナビの画面など反射してダッシュボード等がガラスに映り込み映像に影響を及ぼす事があります。また外部環境の影響により映像画質は変化してしまいます。

・LED式の信号機や標識などは高速点滅しており、本製品で撮影すると点滅や同期して撮影される場合があります。信号が映っていない場合、前後の映像や周辺の状況から判断願います。LED式信号機の記録されない件につきまして当社では一切責任を負いません。

## 2) 製品保証のご注意

・本製品の初期不良期間はご購入日から起算して2週間以内です。2週間を超過しますと修理扱いとなりますのでご購入後速やかに動作不具合の有無をご確認いただけますでしょうか。

・本製品の無償保証期間はご購入日から起算して1年間です。万が一故障した場合、販売店または当社サポート窓口へご購入日が証明できる書類を添えてお申し出ください。なお、修理ご依頼品をご発送いただく際に送料はお客様負担となりますので予めご了承ください。

・運送中の破損や紛失などにつきまして弊社は責任を負いかねます。必ず運送中の衝撃や水漏れなど対策をご注意のうえ梱包してください。

## 3) 配線時のご注意

・本製品及びケーブルを車両に配線する前に、必ず動作確認を行ってから配線してください。

・ケーブル配線時に車両側部品との噛みこみや突起物と干渉しないよう必ず注意してください。

破損や漏電、事故、火災、感電等の原因になります。

・取付完了後、「ブレーキ」「ライト」「ホーン」「ウインカー」「キーロック」など全ての電装品が正常に動作することをご確認ください。

・必ず整備工場や専門業者にご相談のうえ取り付けを行ってください。

・万が一、上記問題がございましたも当社では一切責任を負いかねますのでご注意ください。

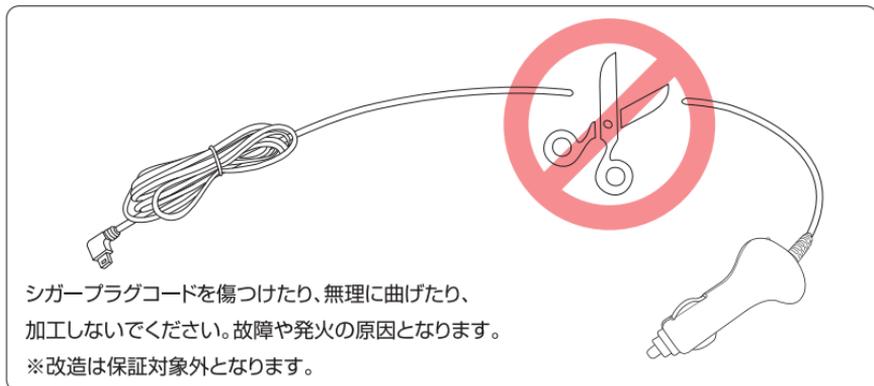
## 参考記録時間

メモリーカード 容量	8GB	16GB	32GB
2560x1080 30P 21:9 WHD	約60分	約120分	約240分
2304x1296 30P 16:9 SHD	約60分	約120分	約240分
1920x1080 30P 16:9 HDR	約75分	約150分	約300分
1280x720 60P 16:9 HD	約85分	約170分	約340分

※上記値は参考値(目安)で、絶対保証するものではありません。

※ご使用される周囲環境やメモリーカードの容量などの要因で記録可能な時間や件数が異なります。

## ・電源ケーブルの改造や加工



本製品ドライブレコーダーへの入力電力仕様をご確認の上、必ず電圧変換を十分にご配慮ください。電圧変換や配線などを間違えてしまうと本製品の故障やエンジン故障、事故の原因になります。詳しくはカーエレクトロニクス製品を取り扱う販売店や専門業者の方へご相談ください。

### 4) ご使用中のご注意

- ・エンジン停止後にシガーライターへ電源供給される車両の場合、車両バッテリーの放電防止のために未使用時にはシガープラグ電源ケーブルを必ず抜いてください。
- ・エンジン停止後やアクシデントにより電流が切断された場合、一定時間録画状態を保てるように本製品にバックアップ電源を搭載しています。また本製品の電源オフ後もシステムやデータ保護のためにすぐに電源を切らない設計となります。
- ・本製品の電源が切れるまでメモリーカードを抜かないでください。メモリーカードに記録されたデータ破損や本体破損などが発生する場合がございますので、必ずご注意ください。

## 5) 安全上のご注意

製品を安全にご利用いただくため、ご使用前に以下の「安全上のご注意」をご確認ください。当説明書では、お客様や周辺の方々への危害や財産への損害を未然に防止し製品を安全にお使いいただけるよう図記号を併せて注意・警告の喚起を行っています。

- 下記の表示は 誤った取扱によって生じる可能性のある危害・損害の程度を示しています。

 <b>警告</b>	死亡または重傷を負う可能性があります。
 <b>注意</b>	怪我をしたり、周辺の財産に損害を与える可能性があります。

- お客様に守っていただきたい内容を説明しています。

 <b>禁止事項</b> (やってはいけない内容です)	 <b>指示事項</b> (実行・遵守いただきたい内容です)
--	---

 <b>注意</b>	
 <b>禁止</b>	<b>運転中に画面やLEDインジケータを注視しないでください。</b> 前方不注意による事故の発生原因となる可能性があります。  <b>コードを噛み込ませたり、引っ張ったり傷つけたりしない。</b> ショート・断線などにより、発火など故障・不具合の原因となる事があります。
 <b>指示</b>	<b>安定した場所に設置・固定してください。</b> 固定されていない状態および不安定な状態でのご使用は、急ブレーキなどの際、思わぬケガや損傷を負う危険があります。必ず固定してご使用ください。  取り付けはフロントガラスの上下範囲のうち上端から20%の範囲を目処に取り付けてください。
 <b>指示</b>	<b>規定容量のヒューズを使用してください。</b> 必ず製品の規定容量のヒューズをご使用ください。
 <b>禁止</b>	<b>ケーブルを引っ張らないでください。</b> シガープラグを抜く際は、ケーブルを引っ張ったりせず、必ずシガープラグを持って取外してください。
 <b>指示</b>	<b>音量にご注意ください。</b> 電源投入時、スピーカーから大きな音が出ることがあります。電源を切る前に音量を下げておく、また適切な音量設定でご利用いただくなどご注意ください。
 <b>禁止</b>	<b>停車中に長時間使用しないでください。</b> エンジンを停止したまま長時間にわたり使用しないでください。バッテリーの放電によりエンジンが始動しない恐れがあります。

## ⚠ 警告

 <b>禁止</b>	<p><b>規定電圧以外で使用しないでください。</b> 当製品はDC12V～24Vマイナスアース車専用です。規定外の電源・電圧での使用は発火・感電等の原因になります。</p>	 <b>指示</b>	<p>車を離れる時は電源を切ってください。車種により、エンジン停止状態でもシガーソケットに常時給電されている車種があります。ご使用にならない時はシガープラグを抜いてください。</p>
 <small>水かけ禁止</small>	<p><b>水をかけたり、濡らさないでください。</b> 内部に水が入ると故障・発火・感電の原因になります。</p>		
 <b>禁止</b>	<p><b>運転の妨げになる場所に設置しない。</b> 視界を妨げたり運転操作に支障のする場所には設置しないでください。視界不良、操作ミスにより交通事故の原因となる可能性があります。</p>	 <b>禁止</b>	<p><b>高温にご注意ください。</b> 高温を発生するヒーターなどの付近に設置しないでください。発火・故障・変形等の原因になります。</p>
 <b>指示</b>	<p><b>エアバックにご注意ください。</b> エアバッグの作動範囲外に取り付けてください。 エアバッグ作動時、思わぬケガを負う可能性があります。</p>	 <b>指示</b>	<p><b>シガープラグを定期的点検してください。</b> シガープラグやソケットを定期的点検し、ホコリや汚れがないよう清掃してください。汚れによって動作不良や発火・感電等をひき起こす原因になります。</p>
 <small>異常のときはシガープラグを抜く。</small>	<p><b>故障・異常の際はすぐに点検を！</b> 発煙、異臭、異音など異常が発生した場合は、シガープラグを抜き販売店に点検をご依頼ください。 発火・感電等の原因となります。</p>	 <b>禁止</b>	<p><b>運転中は操作しないでください。</b> 走行中の操作は前方不注意・運転操作ミスによる事故の原因となります。必ず安全な場所に停車し、パーキングブレーキを掛けた状態で操作を行ってください。 また、手動録画操作等の際には周囲の安全を充分に確認してから操作を行ってください。</p>
 <b>禁止</b>	<p><b>分解・改造しないでください。</b> 感電・故障の原因となりますので絶対に分解・改造しないでください。</p>		

本製品の故障または使用によって生じたあらゆる障害は直接的、間接的に問わず、弊社は一切の責任を負いかねます。予めご了承ください。  
本製品の使用、または使用不能から生じる付随的な損害(事業利益の損失、記録内容の変化・消失など)に関して当社は一切の責任を負いかねます。  
万一落下した場合は、急停車すると事故の原因になりますので、慌てずに周囲を確認してから安全な場所に停車してください。

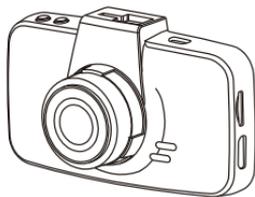
※本製品ドライブレコーダーへの入力電力仕様をよくご確認の上、必ず電圧変換を十分ご配慮ください。電圧変換や配線などを間違えてしまうと本製品の故障・エンジン故障・事故の原因になります。詳しくは販売店または車整備専門店の方にご相談ください。

## 1.はじめに

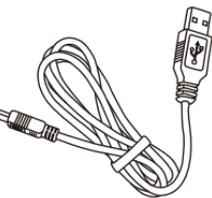
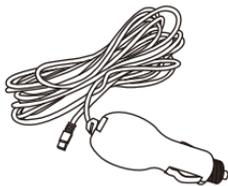
### 1-1.本製品の付属内容

ご使用前にパッケージ内容がそろっているか最初にご確認ください。

① 本体



② シガープラグ電源ケーブル (12/24V→5V/1.5A)



④ 専用吸盤式マウント



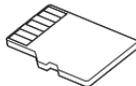
⑤ 取扱説明書



⑥ 保証書

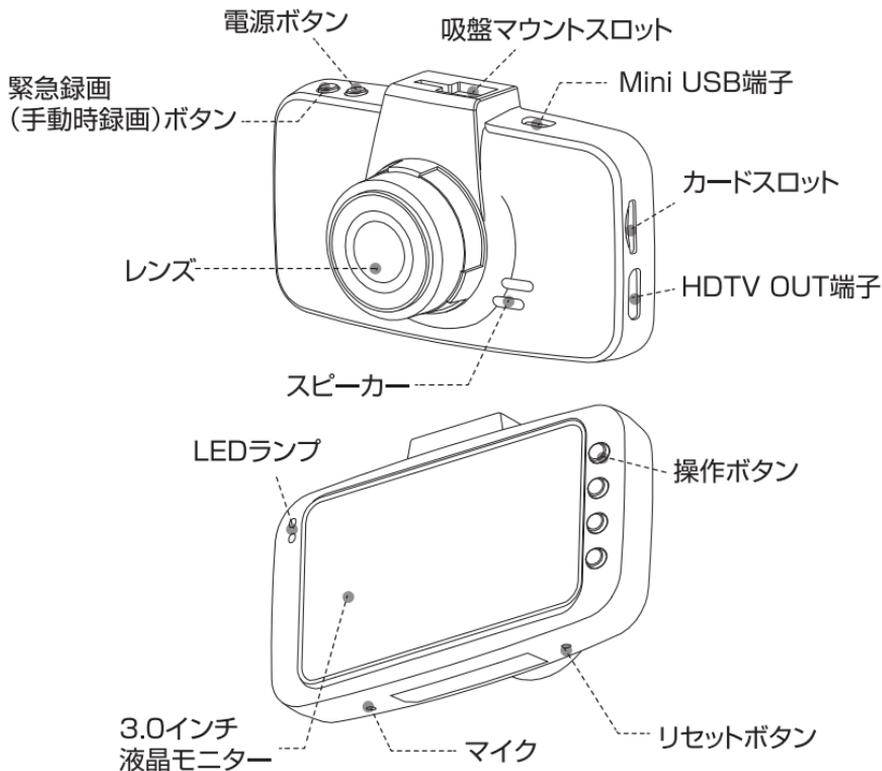


⑦ メモリーカード (MicroSDHC 16GB Class 10)×1枚



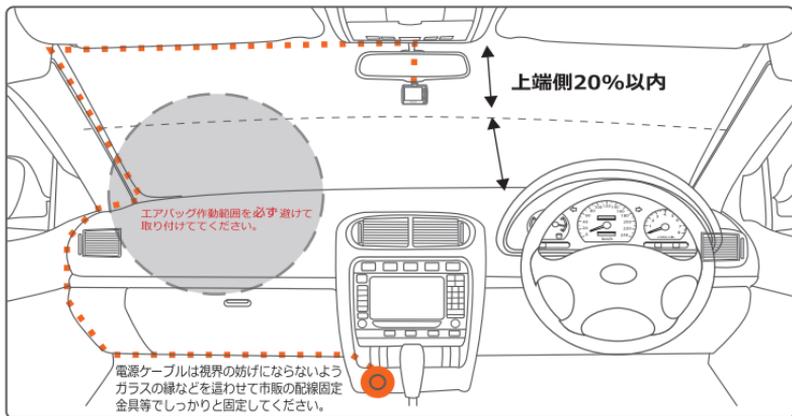
弊社製品の改良などの理由により、予告なく変更される場合があります。

## 1-2.本体の各部説明



## 2.取り付け

### 2-1.取り付け位置の確認



- ①本製品と専用マウントを運転中外れないように確認し、しっかり固定してください。
- ②フロントガラスの上側 20% 以内の範囲に取り付けてください。実際の車種によって取付場所が多少ずれることがあり、視界を妨げずに記録可能な位置でも問題ございません。
- ③降雨時に鮮明に記録するため、ワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。
- ④フロントガラスのフチの着色部やアンテナ、熱線などを避けて取り付けてください。
- ⑤エアバッグ作動範囲を必ず避けて取り付けてください。

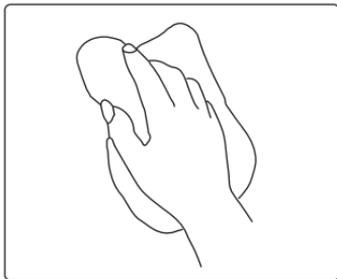
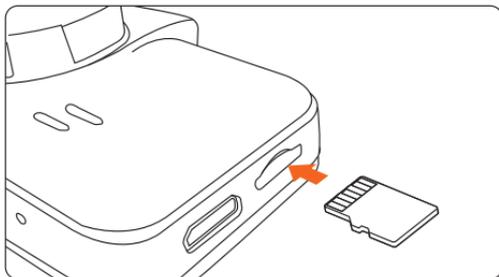


#### エアバッグ作動範囲にご注意ください

エアバッグ作動範囲内に取り付けた場合、エアバッグ作動時、思わぬケガを負う可能性があります。当社は車両衝撃やエアバッグ動作の原因で傷害や重傷、死亡等に至るな事故に関しては一切の責任を負いかねます。

## 2-2.メモリーカードの取り付け

メモリーカードの金属面を上にし、カードスロットに挿入

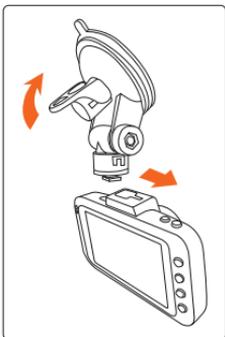


## 2-3.取り付け準備

最初に取り付け位置を決めてください。

取付位置のガラスをクリーニングクロスで汚れや油分、水分を除いて清掃してください。

## 2-4.専用マウントの取り付け



- ①本体と専用マウントを取り付け
- ②専用マウントを最適な位置に取り付けて固定
- ③撮影アングルを調整
- ④本体の液晶画面やレンズ保護フィルムを剥がす

※映像が暗く色が異なって記録されてしまうため必ずレンズ保護フィルムを剥がしてください。

## 3.使い方

本製品はお客様に満足且つ快適にご使用いただくため万全の設計と品質管理のもと製造された製品となります。ただし、天候状況や明るさなどの影響により記録された映像がはっきりしない場合や記録保存エラーが発生し一部製品の機能がうまく稼働できない場合もございますので、予めご了承ください。

- ・急激に明るさが変わる場合
- ・日光の影と日差しの逆行が強い
- ・走行中の揺らぎや信号
- ・悪天候(大雨/雪/強風/濃霧/夜間など)
- ・夜の光源がまったくない極端の場合など

### 3-1.起動（初期設定後の場合、記録開始）

- ① シガープラグ電源ケーブルを車両のシガーソケットに接続
- ② シガープラグ電源ケーブル側のmini USBコネクタを本体に接続
- ③ メモリーカードをカードスロットへ挿入
- ④ 電源ボタンを押して本製品を起動

## 3-2.初期設定

- ①言語や時刻の設計をしてください
- ②メモリーカードのフォーマット(初期化)  
設定画面でフォーマットを選択して実行  
※定期的なメンテナンスとして月1~2回推奨



## 3-3.電源オフ

- ①メモリーカードの取り外しは完全に電源が切れたことを確認してから行ってください。
- ②電源ボタンを5秒押せば電源オフ  
※電源ボタンを3秒押せば電源オン



### 3-4. LEDランプ

※実際の点滅の様が見にくい場合があります。

LEDカラー	状態	意味
緑(上部)	常時点灯	充電中
	常時消灯	充電完了
赤(下部)	常時点灯	録画中/動体検知録画中
	二回点滅	①本体が衝撃を自動感知か手動で緊急録画を行う際に自動でバックアップ ②microSDHCカードの容量がいっぱいになったら、古いデータから上書きされます
	常時点滅	録画できない ①microSDHCカードが保存できない ②microSDHCカードの容量不足 ③microSDHCカードがフォーマット エラー ④microSDHCカードをフォーマットしてください

### 3-5.各ボタンの機能

録画モード:



表示モード切替



設定メニュー



マイクオン/オフ



画面オン/オフ



手動緊急録画ボタン



電源ボタン

## 写真モード:

  表示モード切替

  静止画解像度設定

  静止画を撮影

 録画モードに戻る

## プレイリスト:

  表示モード切替

  上へ

  下へ

  画像／録画データの選択

 録画モードに戻る

## 緊急録画／通常録画

  戻る

  上へ

  下へ

  画像／録画データの選択

  削除

  再生／一時停止

## 設定モード

  戻る

  上へ

  下へ

  確認

 録画モードに戻る

### 3-6.液晶画面表示



●0:19 : 録画中(赤●点滅)

🎧 : 音声記録ON/OFF

🚶 : 動体検知機能作動中

👤 : ドライバー疲労警告

🚦 : ライト点灯忘れ警告

🚫 : 速度制限標識警告

🕒 : 出発遅延警告

🚨 : 緊急録画作動中

📁 : 緊急録画ファイル数量

🔋 : 内蔵電池使用時

🔌 : 電源コード使用時

2016/01/01: 現在の日付

09:03:31: 現在の時刻

WHD: 解像度表示

📄 : 表示モード切替(※)

⚙️ : メニュー

🎧 : 音声記録ON/OFF

🚫 : 画面オン/オフ

📄 ※表示モード切替ボタンを押すとモード順番変更

“録画モード→写真モード→プレイリスト”

## 4.録画/再生/削除

### 4-1.常時録画（繰り返し上書き録画）

- 電源が入ると挿入済みのメモリーカードへ自動的に記録を開始
- 5分間で1ファイルのデータを連続して記録
- メモリーカードの容量が一杯になると自動的に古いファイルを上書きして記録
- 常時録画データはメモリーカードの『\NORMAL』へ自動的に保存

### 4-2.緊急録画

- 手動録画
- 常時録画中に緊急録画ボタン  を押せばデータを保護フォルダに保存
- 衝撃検知時録画
- 衝撃感知時に自動的に記録を保護フォルダへ保存

※保護フォルダへ保存できるデータは10個です。11個目からの記録は自動的に古いデータから上書きして記録を続けますので、必要なデータがある場合には個数を確認のうえパソコンへバックアップを行ってください。

### 4-3.スナップショット（静止画撮影）

- 常時録画中に表示モード切替ボタン  を押せば、写真モードに切り替わり、 ボタンを押し静止画を撮影することができます。

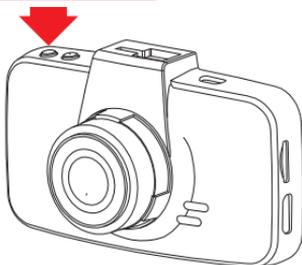


- 写真モード中に  ボタンを押せば、静止画の解像度を設定できます。
- スナップショットで撮影したデータはメモリーカードの『\NORMAL』へ自動的に保存



- スナップショットで撮影したデータはメモリーカードの『\NORMAL』へ自動的に保存
- 写真モード中に  ボタンを押せば、録画モードに戻ります。

録画モードに戻る



#### 4-4.USB接続（データの読み取り）

- ①USBケーブルで本体とパソコンを接続し、パソコンで『リムーバブルディスク』と表示
- ②『リムーバブルディスク』を開くと、2つのフォルダがあります。
  - ・ 『\NORMAL』…常時録画データ、スナップショットデータ
  - ・ 『\EVENT』…緊急録画データ
- ③必要なデータを選択し、パソコンにデータをコピーして完了

#### 4-5.メモリーカード接続（データの読み取り）

- ①本体の電源をオフにした後、メモリーカードを取り出す
- ②メモリーカードをパソコンに接続すると『リムーバブルディスク』と表示
- ③『リムーバブルディスク』から必要なデータを選択し、パソコンにコピーして完了

#### 4-6.映像の再生/削除

- ①常時録画中に表示モードの切替ボタン **M** を2回を押して、プレイリストを表示
  - ②再生するファイルを選択（通常録画/緊急録画）
  - ③ファイルを選択後、映像データを選択すれば映像を再生
- ※不要な映像データを選択して削除可能





#### 4-7.HD 出力

- ①HD 出力ケーブル(※別途必要)で本体と映像表示機器に接続
- ②映像表示機器の入力信号をHDに設定
- ③映像表示機器の画面を切り替え、出力された画面を表示

※本機能を使用される場合、市販タイプCミニHD端子が別途必要です。

※本機能ではリアルタイムの映像を出力できません。メモリーカードに記録された映像出力のみ。

※シガープラグ電源ケーブル接続または5V1.5Aの電源供給が必要です。

## 4-8.ファームウェアのアップデート

※事前にメモリーカードに入っている必要なデータのバックアップをしてください。  
この作業はデータはすべて消去されますので、当社ではその責任を一切負えません。

- ①パソコンでPAPAGO JAPANウェブサイトへアクセス [www.papago.co.jp](http://www.papago.co.jp)
- ②「製品サポート」→「ダウンロード」→「ファームウェアの対象製品」を選択
- ③最新ファームウェアのデータをダウンロードし、メモリーカードへ保存
- ④メモリーカードを本体カードスロットへ挿入してから、本体の電源オン
- ⑤LEDランプが点滅し、アップデート(更新作業)完了後に自動的に再起動
- ⑥初期設定を終了後、「設定画面」→「デフォルト設定」を選択
- ⑦「すべての設定をクリアし初期化再起動」→「確認」を行ってください。
- ⑧設定-バージョン情報”で最新バージョンかどうかを確認できます。



ファームウェアをアップデートする際、メモリーカードを正常な状態で読み書きするためにメモリーカードのフォーマット(初期化)を行ってください。  
起動できない等の不具合が発生するため更新中は電源を切らないでください。

## 5. 設定画面 (走行中は大変危険のため絶対に操作を行わないでください)

グレー色枠 (本印刷物) / 青色枠 (本体操作時) の設定は工場出荷時の初期設定となっております。

なお、製造ロットにより製品は取扱説明書と異なる場合がございますのでお手数ですが再度設定をご確認ください。

### 5-1. 安全走行

#### 5-1a. 初回使用時

初回取付時や本体再設置時の場合、撮影範囲が適正か確認しご使用ください。

#### 5-1b. 録画範囲の調整

1. ボンネットが画面4分の1を超えない範囲で角度調整してください。
2. 各種機能は撮影する画面で判別するため適切な角度調整が必要です。

#### 5-1c. 映像位置校正

初期設定の場合、まずは設定項目の「安全走行」(図1)を選択してください。次に「映像位置校正」(図2)を選択し、説明映像(図3)に切り替わります。説明が終了すると設定画面(図4)に切り替わります。



図1

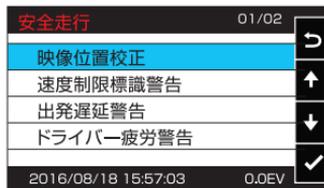


図2



図3



図4

設定方法 (図5/図6参照)

説明映像を参考にし、本製品を上下左右に調整して最適な位置を決めてください。



図5



図6

OK!

※本機能は天候状況や日差し反射や急激な明るさ反応等により、正しく稼働もしくは誤判断される場合があります。これは不具合ではありませんので、予めご了承を頂けるようお願い致します。

### 5-1d. 速度制限標識警告

機能オフ/機能オン(音声)  
(音)(音無し)を設定



### 5-1e. 出発遅延警告

警告のオン/オフを設定

出発遅延警告		→
<input checked="" type="checkbox"/> オン		↑
<input type="checkbox"/> オフ		↓
		✓
2016/08/18 15:57:03 0.0EV		

### 5-1f. ドライバー疲労警告

警告の作動時間を設定  
(30分間 / 1時間 / 2時間 / オフ)

ドライバー疲労警告		01/02	→
<input type="checkbox"/> オフ			↑
<input type="checkbox"/> 30分間			↓
<input type="checkbox"/> 1時間			✓
<input checked="" type="checkbox"/> 2時間			
2016/08/18 15:57:03 0.0EV			

### 5-1g. ライト点灯忘れ警告

警告のオン/オフを設定

ライト点灯忘れ警告		→
<input checked="" type="checkbox"/> オン		↑
<input type="checkbox"/> オフ		↓
		✓
2016/08/18 15:57:03 0.0EV		

### 5-2 音量設定

システムのボリュームを設定

音量設定		02/02	→
<input checked="" type="checkbox"/> 80%			↑
<input type="checkbox"/> 100%			↓
			✓
2016/08/18 15:57:03 0.0EV			

### 5-3 ボタン音

ボタン操作音のON/OFF  
を設定



### 5-4 録音設定

音声記録のON/OFFを設定



### 5-5 EV値設定

露出補正(EV値)(13段階)を  
調整し、適切な露出値を調整  
\*EV(露出)値により映像画質  
が影響されます。



### 5-6 解像度

録画の解像度を設定  
(初期設定は映画スクリーンの  
ような21:9アスペクト比率の  
ウルトラワイド録画の解像度に  
設定)



## 5-7 動体検知（監視機能）

機能のオン/オフを設定



## ■ PAPAGO!動体検知監視機能について

### ・ 必要事項

本機能ではスマート常時直結電源コード又は常時電源供給装置が必要です。

品名:スマート常時直結電源コード

型番:A-JP-RVC-1 JAN: 4582448450372

必ずカーエレクトロニクスの専門業者またはディーラーでお取り付け下さい

### ・ 設定の切り替え（ドライブレコーダー ↔ 動体検知監視機能）

ドライブレコーダーとして使用する時には「動体検知」をオフに設定します。  
動体検知監視機能を使用する時には「動体検知」をオンに設定します。

※「動体検知」をオンの時、ドライブレコーダーとして正常動作や記録できません。

※自動切り替えではございません。オン・オフは手動で行ってください。

建物に鍵を施錠するのと同じように防犯検知機能も手動で施錠していただくだけです。

## ・ご使用環境のご注意

本機能はカメラ前方に動くものがある時に記録を行います。そのため、カメラ前方に動き続ける動体があると連続して記録します。例えば通りの激しい道路や人混み、その他動きがある環境には適さないため、動体を検知しないようにカメラ角度を変更して対応するか、環境によりご使用をお控えください。

## ・機能のご説明

動体検知監視機能を使用する時には「動体検知」をオンに設定してください。設定後、カメラ画面上に約1分間変化が無ければ「待機モード」に切り替わる。「待機モード中」にカメラ前方に人や車を検知した時、自動的に記録を行います。

記録終了後、約1分間変化が無ければ再び「待機モード」に切り替わります。なお、定期的にメモリーカードのデータ内容をご確認ください。また車や周辺状況に違和感を感じた時にデータ内容を確認し車の点検を行ってください。

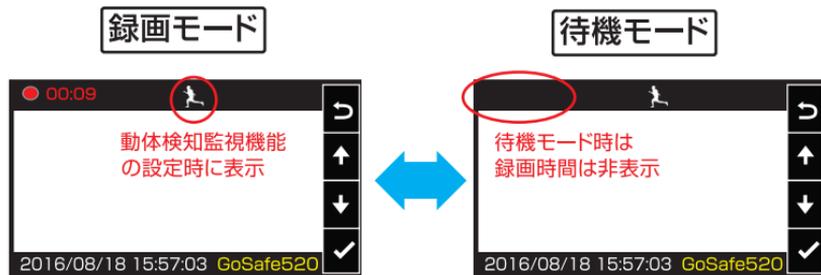
## ・設定方法

① 「設定」→「動体検知」を選択→オンを選択し「OKボタン」で設定完了



## ②「待機モード」と「録画モード」

カメラ画面上で約1分間変化が無ければ待機モードに切り替わります。  
動体を検知し「録画モード」終了後、再び変化が無ければ「待機モード」です。



※補足

待機モード時:「本製品LEDランプ赤→消灯」

録画モード時:「本製品LEDランプ消灯→赤」+「画面左上の録画秒数表示」

録画モードは約1分間録画します。録画モード中に新たな動体を検知した場合、検知した時点から1分間録画を延長します。1つのファイルは最大5分間のため、5分間を超える録画データを新しいファイルに記録します。

## ③モニター画面の表示を消す場合(初期設定は常時オン)

モニター画面を消したい場合には下記設定を行ってください。

「設定」→「LEDオートオフ」→「1分間/3分間/5分間のいずれかを選択」

※設定分数を経過すると画面は消灯します。



※モニター画面オフ時に「△」「OK」「▲」「▼」を押すとモニター画面表示します。



## 5-8 Gセンサー

Gセンサーの録画トリガー強度を設定



## 5-9 日付/時刻設定

日付と時間を設定



## 5-10 LCDオートオフ (モニター画面の自動オフ)

設定した間隔でモニター画面オフや常時画面オンを設定



## 5-11 オープニング音楽

オープニング音楽のオン/オフを設定



## 5-12 システム言語

(メニューの言語を設定)

日本語/英語/中国語(繁・簡)の4カ国語に対応



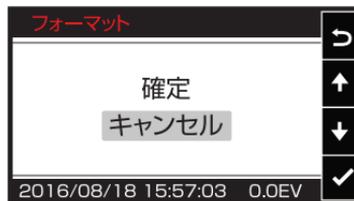
### 5-13 アンチフリッカー

電源周波数を50Hzか60Hzに  
設定



### 5-14 フォーマット

メモリーカードをフォーマット(初期  
化)して正常な状態に復旧  
※安定使用のため定期的に月1~2  
回推奨



 この操作は実行するとメモリーカードに記録されたデータをすべて  
削除しますので必ず事前にデータのバックアップを行ってください。

※メモリーカードは書き込み回数制限を持ち製品寿命のある消耗品です。  
約1年を目安に交換することをお勧めいたします。

### 5-15 フォーマット通知

メモリーカードのフォーマット通知を設定

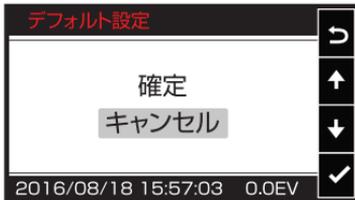
※安定使用のため定期的に月1～2回推奨



### 5-16 デフォルト設定

各種設定をご購入時の状態に初期化

※設定の初期化後、各機能を再設定してください



### 5-17 バージョン情報

ファームウェア(システム)のバージョンを表示



# 6. ドライブレコーダー動画再生専用ソフト"GoLiFE Player"

## 6-1 推薦システム

<b>対応OS</b>	Microsoft Windows Vista(32ビット/64ビット版) Microsoft Windows 7(32ビット/64ビット版) Microsoft Windows 8(32ビット/64ビット版) Microsoft Windows 8.1(32ビット/64ビット版)
※Windows XP、Windows Vistaでご利用される場合、PCの環境により動作しない場合がございますので予めご注意ください。	

## 6-2 ソフトウェアのダウンロード

本製品は専用ソフトは同梱していません。

専用ソフトは下記のURLからダウンロード行い入手してください。

<http://www.papago.co.jp/service/golifeplayer.html>

1.[ダウンロードはこちらをクリック]  ボタンをクリックするとファイル がダウンロードされます。

2.[ファイルを開くか、ファイルをコンピューターに保存するか選択してください]というダイアログが表示された場合は[保存]を選択し、ハードディスクにファイルを保存してください。

3.ダウンロードした実行ファイル「GOLiFEPlayerV4\_2.exe」アイコンをダブルクリックするとインストールが開始されます。画面の指示に従ってインストールしてください。

## 6-3 GOLIFEプレイヤー(専用ビューワソフト)画面



- 1.ビデオ ファイル リスト
- 2.ビデオ再生
- 3.機能リスト

動画データの選択方法

画像左上にある○枠から  再生したいデータが入っているフォルダを選択してください。

## 7.オプション部品

### GoSafe 520専用オプション部品

製品	型番	JANコード	製品名
	A-GS-G19	4582448450808	GoSafe 520 専用シガープラグケーブル
	A-GS-G18	4582448450792	GoSafe 520 専用吸盤マウント

### PAPAGO! 専用スマート常時直結電源コード

製品	型番	JANコード	製品名
	A-JP-RVC-1	4582448450372	スマート常時直結電源コード 「対応機種」 New GoSafe 110、GS110、GS115、 GS200、GS210、GS220、GS272、GS350、 GS360、GS372、GS381、GS520、GS525

※掲載画像はイメージのため実際とは異なる場合がございます。  
また製品の仕様は予告なしに変更を行う場合がありますので、予めご了承ください。

ドライブレコーダー専用オプションのご購入につきまして当社までメールでお問い合わせ  
ください。support@papago.co.jp

## 8.不具合かなと思ったら？（製品サポートチェック）

製品に不具合の疑いがある場合、以下の項目をご確認ください。  
詳しい作業内容は取扱説明書をご確認いただけますでしょうか。

### 8-1.メモリーカードのフォーマット（初期化）

必要なデータは事前にパソコンへコピーして保存してください。  
本体の「設定画面」→「フォーマット」→「確定を選択」→「OK」を押して実行

※本体でフォーマットできない際にはパソコンでフォーマットを行ってください。  
※製製品は上書きする設計ですが、メモリーカード側の仕様によって書き込み回数が多くなるとゴミデータが溜まります。その解決方法としてメモリーカードを正常な状態に戻すため定期的に月1～2回フォーマットを実行してください。

### 8-2.消耗品扱いであるメモリーカードの破損

必ずメモリーカードをフォーマットをしてから判断してください。  
メモリーカードをフォーマットしても症状が改善されない（フォーマットできない/データが削除できない/データが書き込みできない）場合にはメモリーカード破損の疑いがあります。その時、別のメモリーカードで試して症状が再現されない場合には本体の故障ではございませんので、新しいメモリーカードをご用意いただき交換してご使用ください。

### 8-3.本体動作に必要な電圧が足りていない

不具合の原因が本体側?電源接続?どちらが原因か区別することが必要です。本体側が正しく動作しているのかチェックするために、シガーソケット分岐がある場合は取り外し車の表側にあるシガーソケットに必ず付属の電源ケーブルを接続して動作をご確認ください。症状が再現されない場合、本体の故障ではございません。

- ※配線をしている場合でも必ず上記接続で動作確認してください。
- ※オーディオ裏などタコ足配線でも電圧低下が起きます。
- ※安定した電源供給をしているラインから電源を取得してください。
- ※他社製変換ケーブルの使用時にはサポート対象外となる場合もございます。

### 8-4.設定の初期化（デフォルト）

本体の「設定画面」→「デフォルト設定」→「確定を選択」→「OK」を押して実行

### 8-5.電源ケーブルの接触不良

充電したりしなかったりするスマホ充電時の接触不良のように、ケーブルの「ねじれ」や「ひっかけ」などでも接触不良になっていることも考えられます。通電中に、ケーブルを振ってみたり、コネクタを触ってみたりして変化がないかご確認ください。

## 9. FAQ

Q)製品が起動しない

A)「8.不具合かなと思ったら?(製品サポートチェック)」をご確認ください。

Q)モニター画面が表示されない

A)録画モードでエディスプレイ表示をオフになっていないか確認してください。  
"○OK"キーを押しディスプレイ表示をオンにしてください。

Q)メモリーカードがいっぱい

A)メモリーカードをフォーマットしてください。

Q)本体で映像を再生できない

A)映像データのファイル名やフォルダ名が変更されていないかパソコンで確認する。メモリーカード破損の可能性もあり、取扱説明書の8-1と8-2をご確認ください。

Q)映像を確認したい(パソコンを持っていない)

A)ドライブレコーダーのモニター画面で映像を再生できます。

Q)映像を出力したい

A)外部出力HDポートから録画された映像の出力可能(ケーブル/モニター/電源供給が必要)

※本機能を使用される場合、市販タイプCミニHD端子が別途必要です。

※本機能ではリアルタイムの映像を出力できません。メモリーカードに記録された映像出力のみ。

※シガープラグ電源ケーブル接続または5V 1.5Aの電源供給が必要です。

Q) アイドリングストップ機能、ハイブリット機能、省エネ機能、エコ機能を搭載した車種の一部について

A) 特殊車両で不具合症状が発生する場合、機能と連動しない安定した電源ラインから電源を取得してください。アイドリングストップ機能やハイブリット機能、省エネ機能を持つ車種のうち一部では、各機能に連動して通電が止まったり、急激に変わるラインから電源を取ると当然機能と連動して止まりますので機能と連動しない安定した電源ラインから取得してください。

Q) シガーソケット電源以外から電源を取得したい

A) スマート常時直結電源コード又は外部常時電源供給装置が必要です。

Q) ケーブルの埋め込み配線をしたい

A) カーディーラーや車整備専門店にてお取り付けを行ってください。

Q) LED信号機への対応

A) LED信号機は目に見えない高速で点滅しているので本製品で記録した場合には点滅したように記録されます。

Q) 常時録画に記録されるデータとは？

A) メモリーカードへ記録し容量いっぱいになると古いデータを上書きして記録します。

※ 必要なデータがある場合、バックアップ又は別のメモリーカードをご用意ください。

## Q)緊急録画データ

A)メモリーカードの領域約30%を使用すると古いデータを上書きして記録します。

※必要なデータがある場合、バックアップ又は別のメモリーカードに変えてください。

## 10.修理依頼時

保証期間対応の場合、必ずご購入日が記載された証明書(レシートなど)のコピーを添付願います。証明書が無い場合は保証期間対象外となりますので、有償修理扱いになります。

☆必ず下記の付属品一式をご用意ください

①ドライブレコーダー本体

②付属のシガープラグ電源ケーブル(電源コード)

③付属のメモリーカード



※症状を再現するために必要です。再現できない場合、そのままご返送します。

※欠品理由で再修理の場合、往復の送料をご負担いただく場合もございます。

※メモリーカードのデータは事前にお客様側でバックアップを行ってください。

※当社ではメモリーカードのデータを保証できかねますので、ご了承ください。

### ■ご注意事項

修理依頼品をご発送頂く際の送料はお客様負担となります。予めご了承ください。

輸送中の破損や紛失などについて弊社では責任を負いかねます。ご注意のうえ梱包してください。

## ■保証期間対応

本製品ご購入後、1年以内の本体に対する保証期間となります。  
初期不良の対応期間はご購入日から一ヶ月以内までとなりますので、ご購入しましたら必ず動作確認を行ってください。  
ご購入後一ヶ月を経過しますと修理扱いとなります。  
詳細は別紙(保証書)をご確認ください。

## 11.お役立ち情報

### 清潔

- レンズの撮影効果に影響を与えないようにするため、本機のレンズに異物が付着した際は、指で直接ディスプレイに触れないでください。
- 機器に異物が混入した際は弊社までご連絡いただき、ご自身で本機や車用変圧器を解体しないでください。

### 使用上のご注意

- 長時間車から離れる際は、機器を取り外し、車用変圧器を抜いてください。
- 湿気が多い場所や高温の場所に機器を放置しないでください。
- メモリーカードの性能を保つため、長時間機器をご使用にならない場合はメモリーカードを取り出してください。

## 12.その他

### CE規制について

本説明書に記載されているマーク、商品・サービス名は、各社の商標または登録商標、著作権であり、説明する目的として使用するのみです。



WEEE. [(コマ付きのごみ箱とx印WEEE補遺IV)]の記号は、EU諸国において電子、電気機器が分別収集されることを示しています。機器を家庭ごみと一緒に廃棄しないでください。本製品の廃棄についてはお住いの自治体の条例に従ってください。

WEEE

製品やパッケージに本記号が表示されている場合に、本製品と内蔵電池を廃棄する際には、一般の廃棄物とは分別して指定した適切な回収場所に廃棄してください。



より詳細な情報については、各自治体の廃棄物管理機関や販売元あるいは廃棄物サービスステーションにお尋ねください。資源回収は人々の健康と環境保護に役に立っております。是非、ご協力をお願いします。

本製品は下記の規制に満たして設計されております。

電磁環境両立性指令 2004/108/EC

低電圧指令 2006/95/EC

電気電子機器における特定有害物質使用制限指令2002/95/EC

EuP指令(エネルギー使用製品)2005/32/EC

ErP指令(エネルギー関連製品)2009/125/EC

## FCCについて

本製品はテストを実施した結果、クラス B デジタル装置の基準を満たし、FCC 規則パート 15 に準拠していることが認められました。

これらの基準は住宅への設置で有害な干渉に対して十分な保護を規定することを目的としています。この機器は高周波エネルギーを発生、使用、また放射をすることがあるので指示どおりに設置して使用しない場合には、無線通信に有害な干渉を起こす可能性があります。また、インストールの仕方によっては干渉が生じないという保証はありません。本製品が無線受信またはテレビ受信に対して有害な干渉を起こした場合(装置のスイッチをオフにしたりオンにしたりすることにより判断できます)、以下の手段を講じることが推奨されます：

- 受信アンテナの方向または位置を再調整します。
- 本製品を受信装置から遠くに離します。
- 本製品を、受信装置を接続している回路とは別の回路のコンセントに接続します。
- 販売店または経験豊富な無線／テレビ技術者に相談してアドバイスを求めます。

本製品は、FCC基準パート15に準ずるClass Bのデジタル電子機器の制限事項に準拠しています。操作は次の2つの条件に規制されます：

(1) 電波障害を起こさないこと、(2) 誤動作の原因となる電波障害を含む、受信されたすべての電波障害に対して正常に動作すること。

### FCC注意事項

PAPAGOが明示的に承認していない機器の変更や修正を行った場合には、ユーザが機器を使用する正当な権利が無効になることがあります。



地デジなどと電波干渉しにくい設計を採用

## ※修理依頼の前に!

お手数ですが、ダブルシューティング37ページをもう一度ご確認ください。

### ※PAPAGO!製品に関するお問合せについて※

弊社は万全を期して製品や操作方法などを作成しましたが、万一ご不便やご不都合など、お気づきの点がありましたら、大変お手数ですが、どうぞご連絡ください。

公式ホームページのお問い合わせフォームをご記入頂く場合:

<http://www.papago.co.jp/rma.html>

製品メールサポート担当宛てにご連絡頂く場合:

[support@papago.co.jp](mailto:support@papago.co.jp)



一番 **0570-001-885** **パパゴ**

※一般電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間: 10:00~12:00 14:00~17:00  
月曜日~金曜日(祝祭日、年末年始特定休業日を除く)

本製品並びに取扱説明書や製品のファームウェアなどは品質向上のため、予告なしに変更または修正される場合があります。  
大変お手数をお掛けして申し訳ありませんが、  
お客様ご自身が弊社ホームページの更新情報を定期的にご覧していただくことをお勧めします。

**PAPAGO!**<sup>®</sup>

PAPAGO JAPAN株式会社

Designed in Taiwan, Made in China

Ver.16 MG10703



facebook

ページにいいね!  
をしよう!

